

ガス栓や接続具のガス漏れ

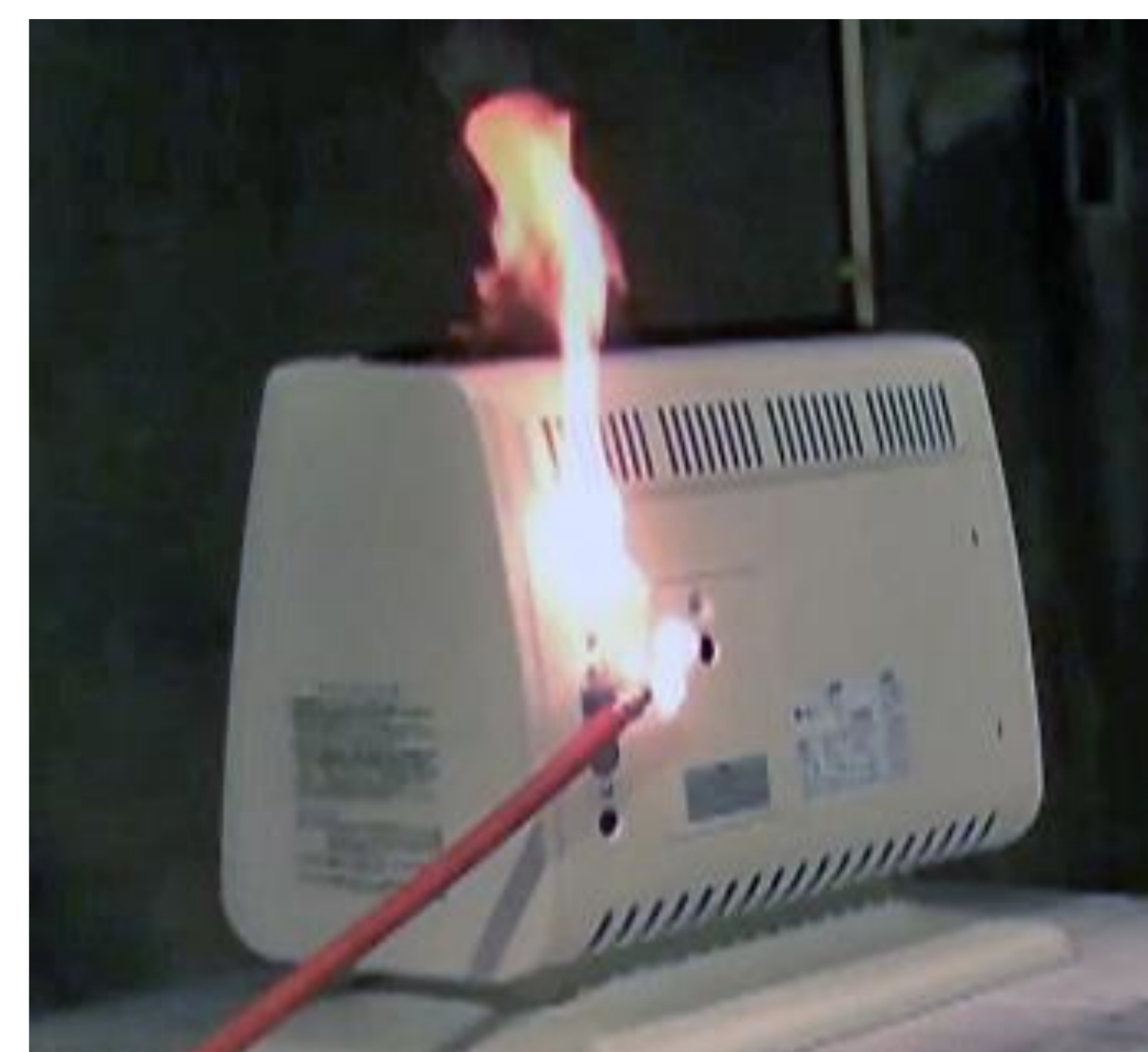
事故の概要

【事例①】ガスコンロを使用中、ガス栓とガス置台周辺が焦げた。

【事例②】寝室のガスファンヒーター付近から出火して、2人がやけどを負った。

【NITEの再現実験】

適正な接続具のガスコードではなく、ゴム管を使ったためにガスが漏れて引火しました。



事故の原因

【事例①】使っていないほうのガス栓を誤って開いたため、樹脂製キャップからガスヒューズが作動しない程度のガスが漏れ、ガスコンロの火が引火したものです。

【事例②】指定の迅速継手を使用せず、ガス用ゴム管を直接接続していました。使用しているうちに接続部が徐々に外れてガスが漏洩し、タイマー点火時に引火したものです。



事故防止のために

- ◆接続具は、利用者が用意するものです。ガス栓とガス機器の接続は適正な接続具を使用してください。
- ◆使っていないガス栓は、専用のガス栓キャップをかぶせてください。シールテープでの代用は、微量のガス放出に対してヒューズが働かないことがあります危険です。
- ◆ガス用ゴム管などを接続する際は、赤い線まで差し込んで、必ずゴム管止めで抜け止めをしてください。
- ◆ソケットに、ゴミなどのかみこみがないことを確認してください。
- ◆ひび割れて固くなってきたガス用ゴム管は新しいものにお取り替えください。

